

8 案内標示等

■基本的な考え方■

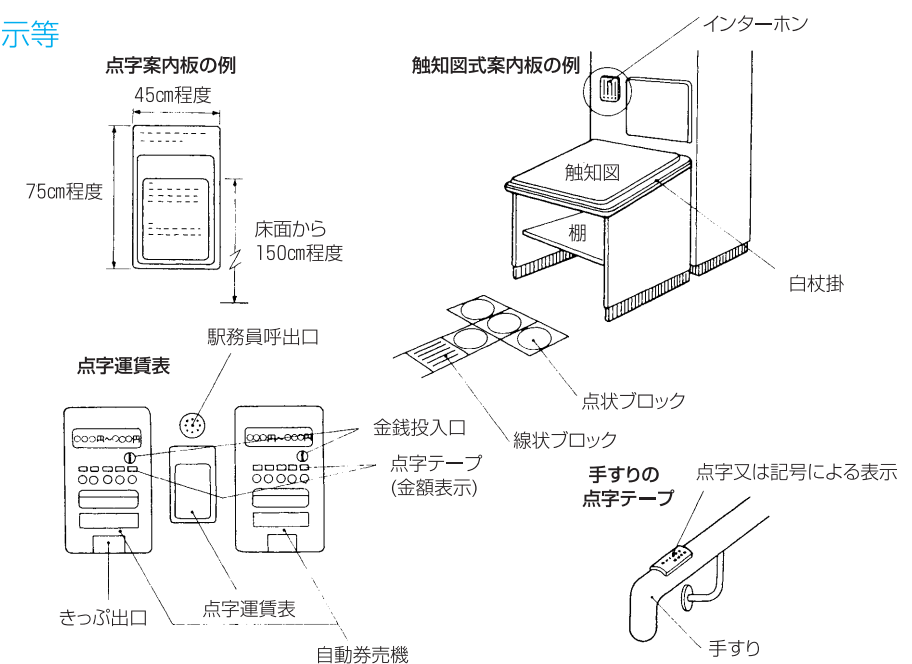
案内標示等は高齢者や車いす使用者等の利用に配慮した構造とするとともに、視覚障害者等が駅舎等構内の施設を円滑に利用できるように配慮する。

整備基準	目標となる指針
8 案内標示等 案内標示等を設ける場合においては、次に定める構造とすること。ただし、常時勤務する者により視覚障害者に公共交通機関全体の利用に関する情報提供を行うことができる場合においては、この限りでない。 (1) 券売窓口、券売機、エレベーター、エスカレーター、バス停留所、乗降場、階段、改札口及び便所等の位置(車いす使用者対応便房がある場合は、その旨)その他公共交通機関の利用に必要な情報を表示すること。 (2) イの表〔建築物〕18の項〔案内標示等〕(1の(1)を除く。)に定める構造とすること。	6 案内標示等 案内標示等を設ける場合においては、次に定める構造とすること。ただし、常時勤務する者により視覚障害者に公共交通機関全体の利用に関する情報提供を行うことができる場合においては、この限りでない。 (1) 券売窓口、券売機、エレベーター、エスカレーター、バス停留所、乗降場、階段、改札口及び便所等の位置(車いす使用者対応便房がある場合は、その旨)その他公共交通機関の利用に必要な情報を表示すること。 (2) 1の表〔建築物〕16の項〔案内標示等〕(1の(1)を除く。)に定める構造とすること。 (3) 鉄道の旅客車その他の車両の進入に際し、音声及び電光掲示等による案内を発する設備を設けること。

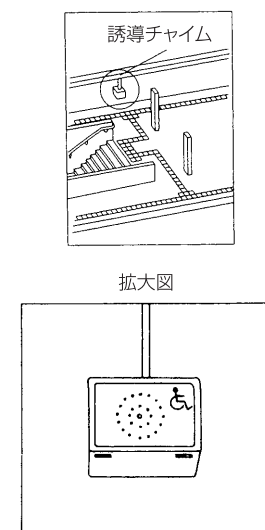
整備基準の解説	
○建築物の案内標示等と同様に規定している。	
目標となる指針の解説	
○目標となる指針の建築物の案内標示等と同様に規定している。	
項 目	解 説
(2) 触知図案内板	○駅舎等構内の券売窓口、券売機、エレベーター等の位置が標示された平面図を点字で理解できるようにしたもの。
(3) 放送設備等	○車両等の発着時刻、発車番線、到着等を聞き取りやすい音量、音質で放送できる放送設備を設置するとともに、文字による案内標示ができる電光掲示板を設ける。

配慮事項	
項 目	解 説
音声案内装置	○視覚障害者が駅舎等を支障なく利用できるように点字による案内とともに、下記の音声による案内装置を適宜設ける。 ①駅出入口、階段の降り口、その他主要な施設の出入口には誘導チャイム又は音声誘導装置を設置する。 ②点字案内板及び触知図案内板には、駅の案内窓口等につながるインターホンを設置する。 ③主要な旅客施設・設備の位置等を視覚表示・感触表示するとともに音声案内もできる音声触知図案内板を設置する。
点滅型誘導音声装置付誘導灯	○フラッシュや音声により緊急事態の発生を知らせることができる点滅型誘導音声装置付誘導灯を設置する。

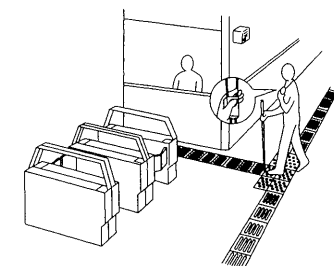
案内標示等



誘導チャイムの例



音声誘導装置の例



点滅型誘導音声装置付誘導灯

